

令和8年度 第6回市長タウンミーティング概要

と き：令和8年4月18日（土）
午後2時30分～4時
ところ：下蕨公民館
参加者：70人

○市長あいさつ

（市長より、令和8年度の施策・予算についての説明が行われました。）

○意見交換

質問(市民)

蕨市は文化・芸能のレベルが非常に高いと感じています。出産前は蕨市の狂言のイベントなどに参加したこともありましたが、昨年出産し0歳の子どもがいるため、今は子どもが泣いてしまうのではないかと心配になり、積極的に参加できずにいます。そこで、市でも東京都の自治体が行っているような0歳児からも安心して参加できるクラシックコンサートなどのイベントを開催していただけないでしょうか。

回答(市長)

私も赤ちゃんや子どもたちが一緒に参加できるような機会をぜひ増やしてあげたいという思いがあります。

蕨市では蕨市音楽家協会のご協力のもと、毎年12月にお腹の赤ちゃんから大人までみんなが一緒に楽しめる「赤ちゃんと一緒に ファミリー&プレママコンサート」を開催しています。こちらは、小さなお子さんも楽しめるよう会場に絨毯を敷き、出入り自由というスタイルで行っています。また、中央地区にある多機能型地域子育て支援センターを運営している「NPO法人子育てママ応援塾 ほっこり～の」主催で、昨年5月に0歳から参加できる生演奏の親子コンサートも開催されました。今後もこのようなイベントを増やすとともに、子育てアプリ「わらべび」や蕨市公式LINEを活用し、プッシュ型による子育て中の方向けのイベントの情報発信を行っていきたいと考えています。

また、市民会館大ホールをリニューアルし、スタインウェイのグランドピアノも導入しますが、良い音色をより多くの子どもたちに聞いてもらう機会ができればいいなと思っています。

質問(市民)

他の市の友人から、「蕨はいいね」といつも言われています。他の自治体と違うと感じる点のひとつに、子育て支援があります。35人学級をいち早く取り入れてくれたこと、新年度も特別な支援を必要としている子どもたちの発達の問題に目を向け取り組みを充実していただいていることなど、本当に感謝しています。

そうした中で一点、昨年のタウンミーティングでもお話ししましたが、子どもたちの電子メディアとのかかわり方に問題があると感じています。新聞では、不眠や視力の低下など子どもの身体に深刻な影響があることやゲームから離れられないことで家族の中で喧嘩となり暴力事件に繋がるなど、電子メディアに起因した報道もみられるようになりました。スマートフォンの使用についても行政との関わりは難しい部分はあるかと思いますが、今の子どもたちの現状をみると、昨年以上に大人の私たちがストップをかけてあげないと大変なことになるのではないかと考えています。市長の考えをお聞かせください。

回答(市長)

蕨市では、国に先駆けて小学校35人学級の実施を行うなど、教育の充実を進めてきましたが、不登校や特別な支援を必要としている子どもたちの増加という課題に更に対応するため、今年度は、不登校の子ども達の学習支援や居場所となる「エスタ」を中学校に続いて、小学校4校に設置するほか、支援を必要とする子ども達に向けた通級指導教室「こころの教室」の増設や特別支援教育支援員の増員も行います。

ご質問の「健やかメディア」についても、蕨市では早くから取り組みを行っていますが、メディアを使うルールや発信する際のリテラシー教育について力を入れて取り組んでおり、学校だけではなく公民館とも連携し、毎年「健やかメディア推進大会」を開催しています。ヨーロッパなどでは国が子どものSNS使用を一律制限する動きが出ている中、日本ではまだそのような仕組みがありませんが、日本も国として取り組むべきテーマだと思っています。市では学校でのルールづくりや地域の取り組みを引き続き進めていきたいと考えています。

質問(市民)

南町に住んでいる者です。松原会館で趣味の講座を受講しています。西公民館及び松原会館が、新たな土地に移転し、複合施設として整備されることに伴い、今後は公民館活動の一環として行われるという話を松原会館の職員から伺いました。もし、そうだとしたら、西公民館の複合施設内だけではなく、南町地区か

らもアクセスのしやすい市の中心部の公民館でも講座を開催していただいたり、少額でもお金をお支払いして、各地区で実施するなど考えていただけないでしょうか。

回答(市長)

現在、松原会館は社会福祉協議会が運営し、公民館は市で運営しています。移転後は、松原会館で行っていた講座も市が運営するということになりますが、講座などは継続していくことが基本となっていますので、引き続きご参加いただければと思います。

また、市には7つの公民館にそれぞれの個性があり、様々な講座があるほか、公民館で活動する趣味の団体もあります。お住いの地域にかかわらず、どの公民館の事業にもご参加いただけますので、コミュニティバス「ぷらっとわらび」をご活用いただくなどして、ぜひご利用いただければと思います。

(健康長寿課より 松原会館で実施している講座については、新たな複合施設に移転した後も公民館の事業ではなく、引き続き、松原会館の事業として実施する予定となっています。)

質問(市民)

昨年度にごみ問題について市に対応してもらい、ごみ出しのルールが守られるようになってきました。ありがとうございました。

また、新しい図書館を楽しみにしているのですが、南町の現図書館の建物はどのように活用されるのかお伺いいたします。

回答(市長)

地域の皆さんには、日ごろからごみ集積所の管理をはじめ、ごみ焼却施設の火災時の際の対応など、ご協力いただき感謝申し上げます。

令和9年秋ごろに新図書館が整備されることに伴い、南町の現図書館は廃止となる方針です。建物については耐震化がなされていますが、老朽化が進んでいるため、公共施設としてリニューアル活用をするためには多額の費用がかかります。今期のマニフェストにおいては、文化芸術の拠点としての活用を検討するとしており、河鍋暁斎記念美術館と連携した取り組みを行っていったらという思いがありますが、財団の美術館であり、その意向や移転に関する課題があるため、引き続き検討をしているところです。

更に、図書館の分館の機能は、南公民館二階ラウンジの一部エリアを整備し、

書籍を配架して、閲覧スペースを設けるほか、インターネットで予約した本を受け取れるなど一定の役割を果たせるようにしていきたいと考えています。

※5人目の方の質問は、生涯学習カレンダーの記載内容に関するものでしたが、質問者の方の勘違いであることがわかったため、割愛をしています。

質問(市民)

ごみ問題についてのお願いです。下蔵公園に隣接するごみ集積所を利用していますが、カラスの被害があり困っています。カラス対策に有効な折りたたみ式もやすごみ回収ボックスをいただきたいと思い、市に連絡すると「順番に対応しますのでお待ちください。」と回答があり、現在も待っているところです。これからカラスの繁殖も重なるため、早急に対応してほしいです。現在は ネットにレンガを置き、対策を講じていますが、一度視察していただくことはできないでしょうか。

回答(市長)

地域の皆様のご協力での今のゴミの収集体制が成り立っているということを改めて感謝申し上げたいと思います。

また、市では蓋つきの折りたたみ式もやすごみ回収ボックスを市内約 3000 か所の集積所の分をまとめて用意することが難しいため、毎年約 100 個ずつ購入し、現在は約 600 個設置されているところです。そのほかにも、町会で独自に購入し設置いただいているところもあります。

折りたたみ式もやすごみ回収ボックスについては、そのステーションのごみの量や設置場所などのスペースを考慮する必要がありますが、今お話しいただいたような苦労があるとのことですので、職員が現地確認をさせていただき、対応をしていきたいと思えます。

(安全安心課より 現地確認を行い、町会と協議のうえ、設置が可能であるため、折りたたみ式もやすごみ回収ボックスを設置させていただきました。)

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。